

第12回薬液注入工法を用いた地盤改良技術の今後の展開に関する調査・検討会議事録

日 時：2012年3月28日 14:00～17:00

場 所：地盤工学会 3F 会議室

出席者：

委員長 末政直晃（東京都市大学）

委員 石井裕泰（大成建設），稲川雄宣（大林組），今井敬介（グラウト工業），岡田和成（日本基礎技術），小山忠雄（地盤注入開発機構），新坂孝志（三信建設工業），佐々木隆光（強化土エンジニアリング），高田徹（設計室ソイル），中嶋陽一（ケミカルグラウト），羽田哲也（ライト工業），林健太郎（五洋建設），深田久（不動テトラ），水野健太（若築建設），安井利彰（前田建設工業），鎗田哲也（鹿島建設）

以上16名

配布資料：

12-1 第11回議事録

12-2 薬液注入材の耐久性に関する試験要領と確認試験の提案（小山委員）

12-3 刊行物の著作権などの帰属および取り扱いに関する規程（地盤工学会）

12-4 学会刊行物の転載など使用許諾に関する取扱い要領（地盤工学会）

議 事：

1. 前回議事録の確認（資料12-1）

第11回議事録が報告され確認を行なった。

2. 材料・工法WG（資料12-2）

2.2 注入材の耐久性に関する試験方法

第11回検討会で提案された試験要領には、試験方法の詳細が明記されていないため、試験方法の確立であるのか耐久性試験の実施であるのか不明確であるとの指摘があった。これについて、試験方法の詳細を記述した要領が再提出された。この再提出された要領について下記の項目について検討を行なった。

- ・改良目標強度：120～140kN/m²
 - ・ゲルタイム：要領案では24時間以内（未定）
 - ・供試体作製装置について：装置の概略と製作について
 - ・体積変化およびシリカ溶脱試験について：養生水は測定毎に全量を取替える
 - ・仕様書の作成：薬液の使用量や供試体作製装置、体積変化などの詳細を記載したものを作成
- 以上の項目についてWGを立上げ、5月に開催する委員会までに要領を再考する。また、4月～5月の間で注入材（研究委員会委員）の公募を行い、6月頃をめどに試験を開始する予定。

2.2 報告書について

注入材・工法に関する報告書の概略が報告された。一部、文章の末尾が引用であることを明確となる表現方法とするべきとの指摘があり、これを修正することとした。また、その他修正箇所がある場合には幹事にその内容を送信することとした。

3. 設計・施工 WG

報告書の概略が各 Gr リーダーより報告された。薬液改良土 UU 試験については注意事項を追記する必要があるとの指摘があった。また、A3 折り込みと文献調査結果一覧・トラブル事例については巻末に移動することとした。

4. その他 (資料 12-3, 12-4)

4.1 報告書

転載・引用許諾願書を幹事が作成し、報告書執筆者に送信をする。執筆者は許諾願書の作成と送信先を確認し、幹事に返信をする。幹事は集めた許諾願書を関東支部に提出し、関東支部より送信する。なお、引用した文献が文献著者の意図と異なる可能性がある場合には文献著者が内容の確認を出来るようにする。

4.2 研究委員会への移行にあたって

来年度の課題として以下の項目についてディスカッションを行なった

- ・設計：改良土の特性を考慮した設計によるコストダウン
- ・設計：戸建住宅の液状化対策（改良範囲・改良強度）
- ・施工：土中ゲルタイム測定方法とその解釈
- ・試験法：土質試験（JIS, JGS）に記載されていない試験を確立し、実態の把握を行う。

4.3 今後の予定

耐久性試験 WG を立上げ、試験仕様書を作成する。

研究会準備会を 2012 年 5 月 17 日 14:00～地盤工学会にて開催予定。

以上